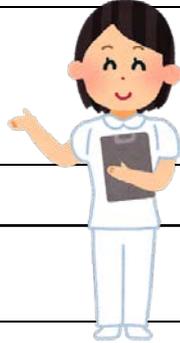


RALP（ロボット補助下前立腺全摘除術）を受ける患者様へ

様

	入院日 月 日	手術前日 月 日	手術日 手術前 月 日	手術後
目標	手術を理解し、必要な準備が出来る。			合併症が早期に発見され、苦痛を軽減することが出来る。
処置 検査	採血・検尿 心電図 呼吸機能検査 レントゲン 麻酔科受診 歯科受診 MRI 手術説明 月 日 : ~	毛剃り（お腹～陰部）と臍の掃除を看護師でします。 シャワー後に点滴の針を入れます。	7 時頃 浣腸をします。 手術前 ストッキングを履いて、眼鏡や入れ歯、指輪などの金属類を外してください。 手術時間が決まれば、4 階の手術室へ向かいます。 	<体の状態> 酸素のマスク、心電図、点滴、尿道の管（尿道カテーテル）、フットポンプが付きます。 3～4 時間毎に体温と血圧を測ります。 
点滴 内服	下剤（ガスオール）の内服が始まります。	15 時頃 下剤（マグコロール P）の内服があります。寝る前に下剤（センノシド）の内服があります。18 時～点滴が始まります。	7 時まで、麻酔科の指示が出たお薬を少量の水で内服してください。 点滴が続きます。	点滴が続きます。 点滴の横から痛み止めの薬も持続的に流れます。抗生剤の点滴があります。
活動	制限はありません。		→	ベッド上安静です。 横向きは出来ませんが、起き上がりは出来ません。
食事	低残渣食になります。	昼食以降は食べる事が出来ません。 24 時まで飲水できます。	0 時以降食べたり飲んだり出来ません。	→
清潔	制限はありません。	毛剃り後、シャワーに入ってください。		うがいの希望があれば、お手伝いします。
説明	治療日程や、術前の必要物品、術後の安静について説明します。 入院中は排尿状況表を記載してもらいます。骨盤底筋運動は手術まで続けましょう。		ご家族は病室かデイルームでお待ち下さい。 それ以外の場所で待機する場合は、連絡先を看護師に教えてください。 貴重品はご家族に預けてください。	ご家族の方が夜間付き添いをされる場合、貸出寝具を用意します。 吐き気や傷の痛み、尿意が強いなどの症状があれば、すぐに知らせてください。

RALP（ロボット補助下前立腺全摘除術）を受ける患者様へ

	術後1日目 月 日	手術2日目 月 日	手術3日目以降 月 日	手術7日目以降～退院 月 日～
目標	手術後合併症なく過ごすことが出来る。			
処置 検査	採血があります。 朝 心電図を外します。 歩行出来れば、フットポンプやストッキングも外します。 日中に部屋でお腹のレントゲン撮影があります。		痛み止めの点滴を外します。 4日目 熱が無ければ点滴の針を抜きます。 傷口の絆創膏を外します。	7日目 膀胱内に造影剤を入れる検査をし、傷口に問題が無ければ尿道の管が抜けます。 抜けた後は、排尿状況表を記載してもらいます。 採血もあります。 尿の勢いと残尿を調べる検査、検尿MRI 検査があります。 検査の結果、問題が無ければ退院となります。
点滴 内服	点滴が続きます。 抗生剤が10時と20時にあります。	点滴が続きます。 医師の指示があれば、内服を再開します。	3日目まで点滴が続きます。	
活動	朝から起き上がり、歩行が出来ます。 最初は看護師と共に行います。 歩行は病棟内までであれば可能です。		3日目～病院内の歩行が可能であり、制限はありません。 お腹に力かける動作は避けましょう。	
食事	レントゲン撮影後、医師の許可があれば飲水が出来ます。 食事は出来ません。	朝 流動食 昼 5分粥 夕 全粥 が出ます。	朝から常食が出ます。 その後、特に制限はありません。	
清潔	朝 体拭きを行い、服を着替える介助を行います。	体拭きのお手伝いをします。 	4日目以降は尿道の管を入れたまま、下半身のみシャワーに入れます。	7日目～入浴が出来ます。 極端に熱い風呂や長風呂は避けてください。
説明	傷口の治りやお腹の動きをよくするため、早期に活動出来ることを目指します。 体調に考慮しながら体を動かしていきます。		水分は1000ml～1500ml程度摂取するようにしましょう。	漏れは時間の経過と共に改善していきます。 骨盤底筋運動は医師の許可があるまで再開しないでください。